

多機能+簡単操作でマシン目入り
チケットも簡単に作れます。

オンデマンド卓上カッターの決定版

基本の名刺をはじめ、オプションスリッター兼用により、はがき・クレジットカード・二つ折りカード・マシン目入りチケット・写真L判/2L判など多彩なカード類のカットに対応します。



PROSCUT PCM-15
インターテクノ株式会社

顔写真や資格情報などオリジナルな
名刺も小ロットで作成できます。



高解像度の重いデータも
最高画質で高速処理します。

大量部数を短時間に処理する
「毎分60枚出力の高生産性」



お客様へ好印象を与える、
高精細・高画質なプレゼン資料に
仕上がります。

32本のレーザーが彩る
素材感を忠実に再現する
「高精細な2400dpi」



この一台が、解決!

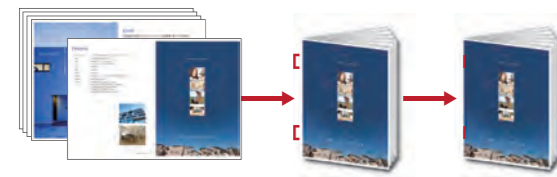
カラーオンデマンドプリンター
imagePRESS
C60

内製化により、いつでも最新の施工事例を
更新でき、必要な数だけ印刷できます。



見栄えの美しい中綴じされた作品集を
すぐに用意できます。

50枚ステイブル機能と16枚中綴じ
ステイブル機能が可能な中綴じフィニッシャー。

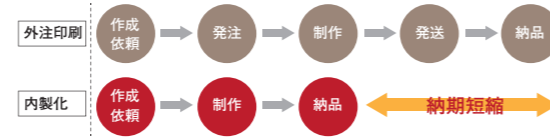


封筒から封入物まで、お客様のニーズに
合わせたきめ細かいDMを作成できます。

封筒や厚紙などの特殊紙、
はがきも利用できる柔軟な「用紙対応力」



内製化により、必要な時に必要な数を
すぐに印刷できます。



導入事例 株式会社 OKUTA 様

名刺をはじめとする販促ツールの内製化による 品質向上とコスト削減の両立を実現

Client Profile



株式会社OKUTA

建築リフォーム工事業

従業員数:約284名

所在地 : 埼玉県さいたま市大宮区
宮町3-25 OKUTA Family ビル

創業 : 1991年4月

資本金 : 67,000千円

事業内容: 新築・増改築リフォームの
企画・設計・施工アフター
管理・不動産仲介

施工実績: 111,900件を超える施工実績

代表的な受賞実績: OKUTAの住宅ブランドpassiv designが
「2015年度 グッドデザイン賞」を受賞

経済産業省主催
「平成26年度 先進的なリフォーム
事業者表彰(経済産業大臣表彰)」に選定



自然素材を使った環境と 身体に優しい家づくり

株式会社OKUTAは、首都圏を中心とした住宅リノベーションやリフォームなど住生活事業を担う建設業として1991年に創業。「地球環境の原則を尊重する企業であり続ける」というミッション・ステートメントを経営方針とし、顧客・社員・取引先との三位一体の信頼関係と地球環境の原則を尊重する家作りを目指している。これまでの施工実績は111,900件を超え、OKUTAの住宅ブランドpassive design(パッシブデザイン)が「2015年度グッドデザイン賞」を受賞するなど、数々の受賞実績を残している。また、首都圏に12店舗展開しているLOHAS studioでは、店舗そのものがモデルルームのような役割を果たしており、自然素材を使った環境と身体に優しい家づくりの空間を、誰でも気軽に体感することができるのも魅力のひとつだ。環境や健康に配慮した自然素材の家づくりを提供している同社が、お客さまに響くさまざまな販促ツールを作成するために「imagePRESS C60」を導入した。導入に至った背景と経緯、その効果などについて代表取締役社長山本氏とマーケティング部長若江氏にお話を伺った。

●Canon、Canonロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。●本紙に記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。●記載の内容は2016年12月現在のものです。●弊社の都合により予告なく変更させていただく場合がありますのでご了承ください。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。



キヤノン ホームページ
canon.jp/solution

キヤノン 導入事例一覧
canon.jp/solution-case

●お求めは信用のある当社で

導入背景

01

オフィス向けプリンターによる 内製化の限界

これまで簡易的な印刷物は、社内のオフィス向けプリンターを使用していた。「例えば各店舗のショップカードは、ミシン目入りの用紙を使用して自作していましたが、ミシン目の切り取り跡が目立ってしまい、どうしても手作り感が出てしまうといった課題や、画質に満足がいらず以前から不満を抱えていました。また社員の家族向けに年に4回社内報を発行していますが、画質の問題からオフィス向けプリンターでは印刷できず、小部数ではありますが外注をしていました。」

頻繁な人事異動・デザイン変更による名刺の外注コスト増

名刺は、ミシン目用紙の品質が社内でNG だったため、デザイン制作も含め年間400 箱近くを全て外注していた。しかし、毎月の人事異動により発生する名刺の廃棄に伴うコストなどが気にかかっていた。「さらに今年に入り、社内において店舗や職種ごとに名刺の色分けをする方向で検討し始めたところ、なかなか受けてもらえる外注先が見つからず困っていました。その時にタイミングよくキヤノンから提案を受け、追加で必要になる工数やコストの観点から内製化も視野に入れるようになりました。」



代表取締役 社長 山本 拓己氏



マーケティング部 課長 若江 佳朗氏

02

選定理由

コスト削減効果の可視化と “imagePRESS C60”自体の性能の良さ

「コスト削減効果の明確化」

「使用中の環境で実現可能な提案」

「安定した性能と幅広い用紙対応」

導入にあたり、“imagePRESS C60”を選定した理由をこう語ってくれた。「導入を検討する上で、営業の方に内製化した場合のコスト削減効果を試算、可視化して頂いた点は大きかったです。やはり外注量や金額など把握できていない部分について、改めて明確にして頂くことで安心して導入を検討することができました。」

これまでは名刺の内製は時間がかかるイメージがあり、専用のアプリケーションを購入しないと印刷から後加工までを行うことができないと思っていました。しかしご紹介いただいた実機を見学した際に、現在使用しているAdobe illustrator の環境でも“imagePRESS C60”での印刷と“PROSCUT PCM-15”の卓上カッターによる後加工で、名刺をはじめミシン目チケットなどのさまざまな成果物が簡単に作成できることが分かり、これまで抱いていた内製化のイメージが一変しました。なるべく時間をかけずに名刺を内製したいと考えていたため、安定した断裁加工を可能にする“imagePRESS C60”の表裏見当精度の良さも重要なポイントでした。また、オフィス向けプリンターにおいて課題に感じていた画質の良さはもちろんですが、将来的に内製化の選択肢を広げられる封筒などの幅広いマテリアルに対応できる機器自体の性能や、“PROSCUT PCM-15”の後加工機との組み合わせによる自社課題解決に結びつくソリューションの幅広さが決め手となりました。」

※同社は、“imagePRESS C60”とインターテック株式会社の卓上カッター“PROSCUT PCM-15”の導入を決定。

03

導入後の成果

名刺印刷における年間コストを 1/15 程度に削減し、営業力向上を実現

“imagePRESS C60”で内製化を行うことで、簡単かつタイムリーに店舗や職種ごとに色分けした名刺を作成できるようになった。部署によっては10個以上の資格を持つ社員もいるため、新築や耐震といった案件ごとにお客さまに必要な資格をアピールできるように複数パターン作成して欲しいといった新たな要望も入るようになり、名刺がお客さまから信頼を得るためのツールとして活用されるようになってきた。

「社内だけではなくお客さまからも分かりやすいと非常に評判が良いです。画質も外注と遜色ない仕上がりで驚きました。また名刺を外注していたときと比較すると、年間のコストを1/15まで削減できました。」

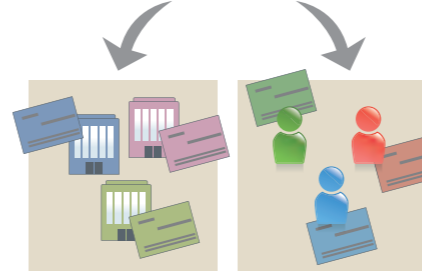
後加工との連携により大幅な作業効率化と品質向上を実現

これまでオフィス向けプリンターで内製していたショップカードなどの販促ツールも、従来のものから“imagePRESS C60”で印刷した後“PROSCUT PCM-15”で断裁するフローに変更することで、品質が格段に向上した。業務の効率化にも繋がっており、現在ではデザインを6パターン・12店舗分作成している。

また、建材事業部で扱っている商品の販促資料は、改編する頻度が高いため限られた部数しか作成しておらず、いざイベントがある際に急に足りなくなることが度々あった。これまではオフィス向けプリンターで刷、補充をしていたが、やはり外注した印刷物と比較すると用紙も違うため仕上がりの品質に差が出てしまう点が悩みだった。「“imagePRESS C60”では、外注時と同じ用紙に対応でき、さらに印刷スピードなどの生産性が高いため、外注した印刷物の補充分も必要な部数のみ増刷でき安心して活用できています。急な対応が必要な際にも、非常に心強いです。」



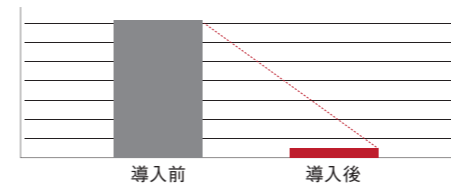
内製化により様々な名刺を簡単に作成



店舗ごとの名刺

職種ごとの名刺

年間印刷コスト



04

今後の展開

更なる活用促進へ

「“imagePRESS C60”と“PROSCUT PCM-15”を連携させることで内製できる印刷物の幅が広がったことにより、これまで作成できていなかったスタンプカードやチケット類などの販促ツールにもチャレンジしていきたいです。また外注していた社内報や冊子系の販促ツールも意外と種類が多いので、小ロットのものは積極的に内製を進めることでコスト削減などに繋がってきたいです。」

電子化が進むにつれ紙媒体も減ってきてはいるが、「紙ならではの良さ」、「紙だからこそお客さまに伝えられるもの」がある。最後に、「今後も“imagePRESS C60”を駆使しながら、お客さまとの信頼関係強化に繋がるさまざまな販促ツールを作成していきたいです。」と語ってくれた。

